

## 2010年度日本獣医がん学会 第2回理事会 議事録

日時：2011年1月23日（日）12:15~13:00

場所：第4回日本獣医がん学会会場（大阪アカデミア）2F 203号室

出席者：信田卓男、浅野和之、石田卓夫、井上明、大塚秀信、加藤吉男、廉澤剛、川野悦生、川村裕子、児玉和仁、児玉恵子、佐藤敏彦、下田哲也、日高勇一、藤田道郎、堀 英也、圓尾拓也、南 毅生、三宅龍二、山上哲史

欠席者：安藤 純、本間尚巳、丸尾幸嗣

### 報告事項

1. 広島県開業・川野理事のご尽力により、学会会場が今回から大阪アカデミアに変更された。本会場の立地条件は、大阪中心部からやや遠いものの、広い会場と会議室の確保が可能となったとの報告があった。

### 2. 各種委員会・部会報告

#### 学会運営に関する委員会

#### 1. 学会企画委員会

##### 報告事項

1. 第4回学会の参加者数は、約500名で新会場に対しての苦情は今のところ出ていない旨の報告がなされた。

##### 審議事項

1. 次回以降の学会開催予定は以下のとおりで承認された。

第5回 2011年7月9日（土）、10日（日）

会場：麻布大学 メインテーマ：肺腫瘍

第6回 2012年1月28日（土）、29日（日）

会場：大阪アカデミア メインテーマ：雌性生殖器

2. 学会企画内容の充実に伴い、演者のブッキングが起きた場合の優先事項は総合教育講演とし、それに従いプログラムを調整する事で承認された。
3. 学会企画に関する会員の要望をできるだけ把握するために、アンケートの実施を検討する旨が承認された。

#### 2. 学会雑誌編集委員会

##### 報告事項

1. 2010 年度に雑誌が 4 冊発行され、Vol 2.からは内科部会が技術講座の執筆をコーディネートする旨の報告がなされた。
2. 雑誌の電子ジャーナル化に伴い、規定の運用に若干の変更がある旨が報告された。

#### 審議事項

以下の事項が審議され承認された。

1. メイン査読者を公開することとなった。
  2. 無断引用や転載を投稿規定に掲載し、投稿承諾書の提出を義務化することになった。
  3. 査読と校閲の方式に関しては、今後改善していくこととした。
  4. 依頼された査読者は 3 ヶ月以内に査読を行うこととし、それ以上の長期間になる場合は委員長が判断することとした。
  5. 査読後の再投稿の期間は、3 ヶ月以内とした。
  6. 雑誌内容の充実のために、認定医取得者への論文投稿義務の依頼をしているが、次年度から採用してほしい旨が承認された。
  7. 1 種認定医の受験資格の条件に、論文投稿を義務化する旨の検討を行うこととなった。
3. 認定委員会

報告事項：以下の報告がなされた。

1. 本年度実施された各種試験の結果報告
2. 新認定医 3 名の認定委員会就任の承認
3. 2 種認定医試験のテキスト案についての各セクションの執筆者の決定を行った。

#### 審議事項

1. 2 種認定医試験のテキストの内容については各部会に依頼することとなった。
4. 専門医制度実行委員会  
本年度は、開催されなかった。
5. JONCOL 編集委員会  
10 号発刊と 11 巻編集の報告がなされた。

## 学術部会

### 1. 外科部会

#### 報告事項

1. 2種認定医試験テキスト執筆は、廉澤部会長が行うこととなった。

#### 審議事項

1. メインテーマの症例検討会とは別に、外科の企画を検討できるように企画委員会へ申請することとなった。

### 2. 放射線療法部会

#### 報告事項

1. 今学会における放射線療法の症例検討会の内容について報告された。

#### 審議事項

1. 2種認定医テキストの執筆者について検討し、中山智宏先生に依頼することとなった。

### 3. 内科部会

#### 審議事項

1. 今後の学会プログラムの中に、顕微鏡セッションの企画を検討できるよう企画委員会へ申請することとなった。

### 4. 病理部会

#### 報告事項

1. 次年度の学会雑誌の技術講座（内科部会担当）に関しては、病理部会としてサポートしていくこととなった。

2. 学会内での病理部会の参画に関しては、症例検討や顕微鏡ディスカッション等の企画の際に病理学的内容をサポートしていくこととなった。

3. 2種認定医テキストの執筆者は、山上・平田先生で担当することとなった。

### 5. 臨床研究部会

#### 報告事項

1. 具体的に臨床研究を本学会内で始めるにあたり、部会のメンバーが中心に始めることとした。

2. リンパ腫が治癒した場合の経過・去勢のみでの肛門周囲腺腫の反

応・皮膚組織球種の自然退縮の頻度の 3 点について、研究テーマとして挙げる事となった。

#### 6. 国際情報部会

##### 報告事項

1. 他の部会員と重複するメンバーが多いので、今後の本部会の活動はメール会議が主体となることとした。
2. ヨーロッパがん学会から協力要請があり、積極的に協力することとした。
3. 今後も各種海外情報について、積極的に会員に提供することとした。

#### 3. 獣医内科学アカデミー（JCVIM）の共催に関して（渉外・広報担当 杉山大樹評議員）

##### 報告事項

1. 2011 年 3 月 12 日（土）9 時から 12 時に、本学会企画として共催することとなった。
2. その内容は、形質細胞腫瘍に関するワークショップとした。

#### 4. 謝礼・交通費規定の新規事項と変更について

1. 具体的な変更事項は、書面にて報告することとなった。

#### 審議事項

1. 次回の第 5 回日本獣医がん学会は以下の日時と内容で開催されることが承認された。

第 5 回 2011 年 7 月 9 日（土）、10 日（日）

会場：麻布大学 メインテーマ：肺腫瘍

2. 専門医制度実行委員会からの要望に関して

専門医制度実行委員会から 2011 年 7 月学会において 3 時間枠の「専門医制度の確立」に関するシンポジウムの開催の要望があった。この件に関しては企画委員会を中心として慎重な検討が必要である旨承認された。

3. 学会企画に関する各学術部会の関与等について

本学会会則によれば、各学術部会は学会運営に関する委員会ではなく、あくまで意見具申・諮問機関である旨の説明が会長よりなされた。従って各部会からの意見要望については、学会会則に準じて学会企画委員会が調整し、決定をしていく基本方針に変わりはないことの確認がなされた。

その他

1. 大阪開催の学会においても、腫瘍以外の他分野の先生に講演を依頼し、その時間帯に各種委員会や部会を開催していくこととした。
2. 南理事から、猫の乳腺癌の臨床研究を継続するための企画書の取り扱いについて質問がなされた。この点に関しては事務局で企画書が提出されているか否かを含めて再確認し、報告することとなった。
3. 山上理事から、シンポジウム演者として講演時刻に遅刻したことを理由に、理事および病理部会長を辞任する旨の発言があった。本学会会則上、理事職等の自主辞任については理事会の審議事項でないため、会長が辞意をお預かりし、日を改めて山上理事と話し合うこととなった。

以上